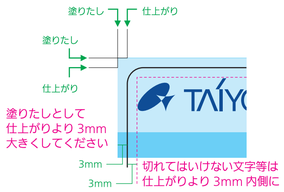
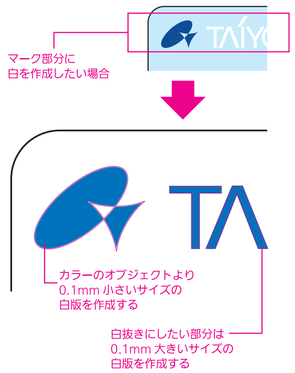
塗りたしと仕上がりについて ※図1



白版について ※図2



クリアファイル素材の特性上カラーと白が 0.1mm ほどずれるため、目立たないように白のサイズを変更する必要があります。

ー 0.1mm 小さいサイズにするには？ー
オブジェクトを選択した状態で、メニューの「効果」→「パス」→「パスのオフセット」を選択。
オフセット値を「-0.1mm」にして下さい。
パスのオフセットをしましたら、その後必ず、メニューの「オブジェクト」→「アピアランスの分割」を選択してください。

オブジェクトに白いフチを付けて 0.1mm 小さくする方法だと、製版上でうまく処理されません。必ずパスのオフセットで小さくして下さい。

配置画像について

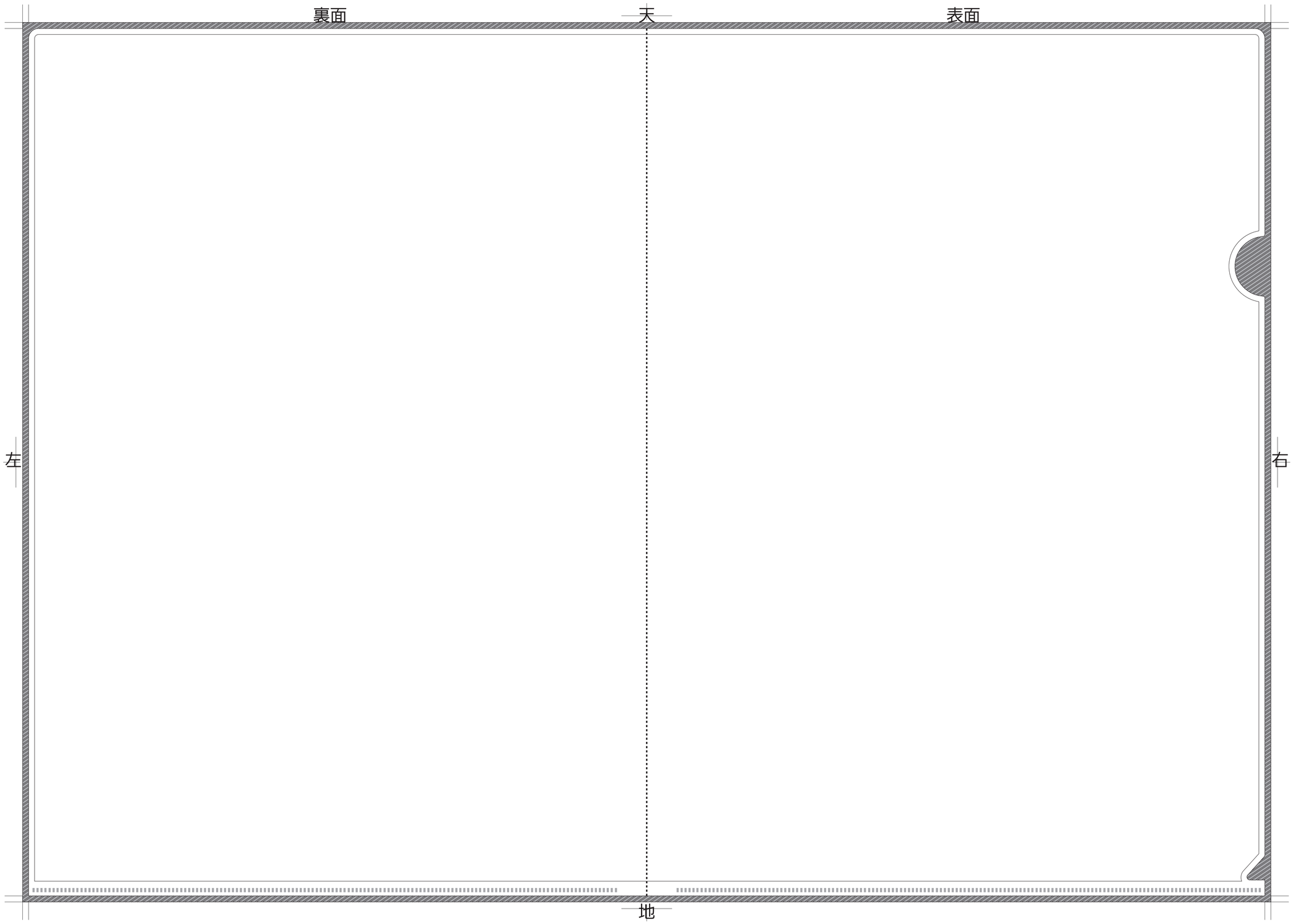
- 画像は必ずCMYKモードもしくはグレースケールで作成してください。
- 適正サイズは原寸サイズで350dpiです。
  これ以上解像度をあげても印刷の仕上がりは変わりません。

必ず確認してください

当社では完全データ入稿を原則としています。完全データとは、当社で手を加える必要のないデータのことです。

作成時のご注意点

- テンプレートを開き「別名保存」で、お客様のお使いのバージョンに保存し直してください。入稿の際は、ai形式もしくはPDF/X-4(推奨)で保存して入稿してください。
- レイヤーの「ご注意点」「仕上がり」「トンボ」は変更禁止です。「Color」レイヤーに作成してください。
- 仕上がり部分まで絵柄がある場合は、仕上がりより外側に3mm塗りたしをつけてください。※図1参照
- 文字には必ずアウトラインをかけてください。（フォント検索でフォントが表示されない状態）
- 線の太さは0.3pt以上にしてください。
- ヘアライン（塗のみの罫線）は印刷されません。必ず線設定をつけてください。
- プロセスで印刷の場合は、特色設定のない状態で入稿してください。
- 切れてはいけない文字等は仕上がりより3mm内側に入れてください。※図1参照
- K100%のみのデータにオーバープリントが適用されます。適用したくない場合はK100%+C1%など他の色を1%設定してください。
- オーバープリント設定に関しては、お客様がモニターでご覧になっている状態を保証できませんので、ブラックのみに適用してください。（全てのオブジェクトを選択し、オーバープリントを解除する。）
- 溶着部分への印刷は可能ですが、欠けてはいけない文字・画像は配置しないでください。また、溶着の熱によって剥がれ、乾いたインクの粉末が内側に残り目立つ場合がありますので、溶接部分にはデータを引かないことをお勧めします。
- パターン機能を使用した場合、必ず「分割・拡張」の処理を行ってからご入稿下さい。分割・拡張処理を行わないと、パターン柄の位置がズレる可能性があります。

白版作成時のご注意点

- クリアファイルは透明な素材のため、透けてほしくない部分、白く見せたい部分には白版が必要になります。
- レイヤーの「ご注意点」「仕上がり」「トンボ」は変更禁止です。「White」レイヤーに作成してください。
- 全面白、表面全面白、裏面全面白の場合のみこちらで用意できますので、ご注文画面の備考欄に明記してください。白版が必要ない場合も明記してください。
- 白版の設定にはスウォッチ「White」（C100M50の特色「White」）を使用してください。
- 白版はカラーより0.1mm小さく作成してください。※図2参照
- 20pt未満のK100%の文字部分には、白版は作成しないでください。
- 白版データ内に、プロセスカラーのオブジェクト等が残っていないか確認してください。